

【研究概要】

C型肝炎ウイルス(HCV)の複製過程を阻害するDirect Acting Antivirals (DAA)による治療により、ウイルス排除率は劇的に向上した。しかし未だに約5%に治療不成功例が認められ、惹起された薬剤耐性ウイルス遺伝子変異がその後の治療を困難にしている。先行研究では十分に解析できなかつたパンジェノタイプDAAの不成功例も加え、全国規模で薬剤耐性変異解析の蓄積/解析に基づく最適なDAA治療選択の基準を明らかにすることで、治療困難例を克服することを目的とする。